国立国会図書館の業務の魅力

※意見にわたる部分は講演者の個人的見解です

Mar/2021

本日の流れ

1. 組織の概要／写真による館内紹介
2. 業務の概要（調査業務、司書業務を中心に）
3. 採用情報等
4. 業務経験談（3 名）
5. 質疑応答
6. まとめ

注意事項

- 録画・録音はお控えください
- マイクはオフにしてあります
- 質問はチャット機能を使って送信してください

基本的役割

国会活動の補佐

- 信頼性の高い調査・分析と迅速かつ的確な情報提供により、国会の活動を補佐
- 国会の活動に関する情報を提供することで国会と国民をつなぐ

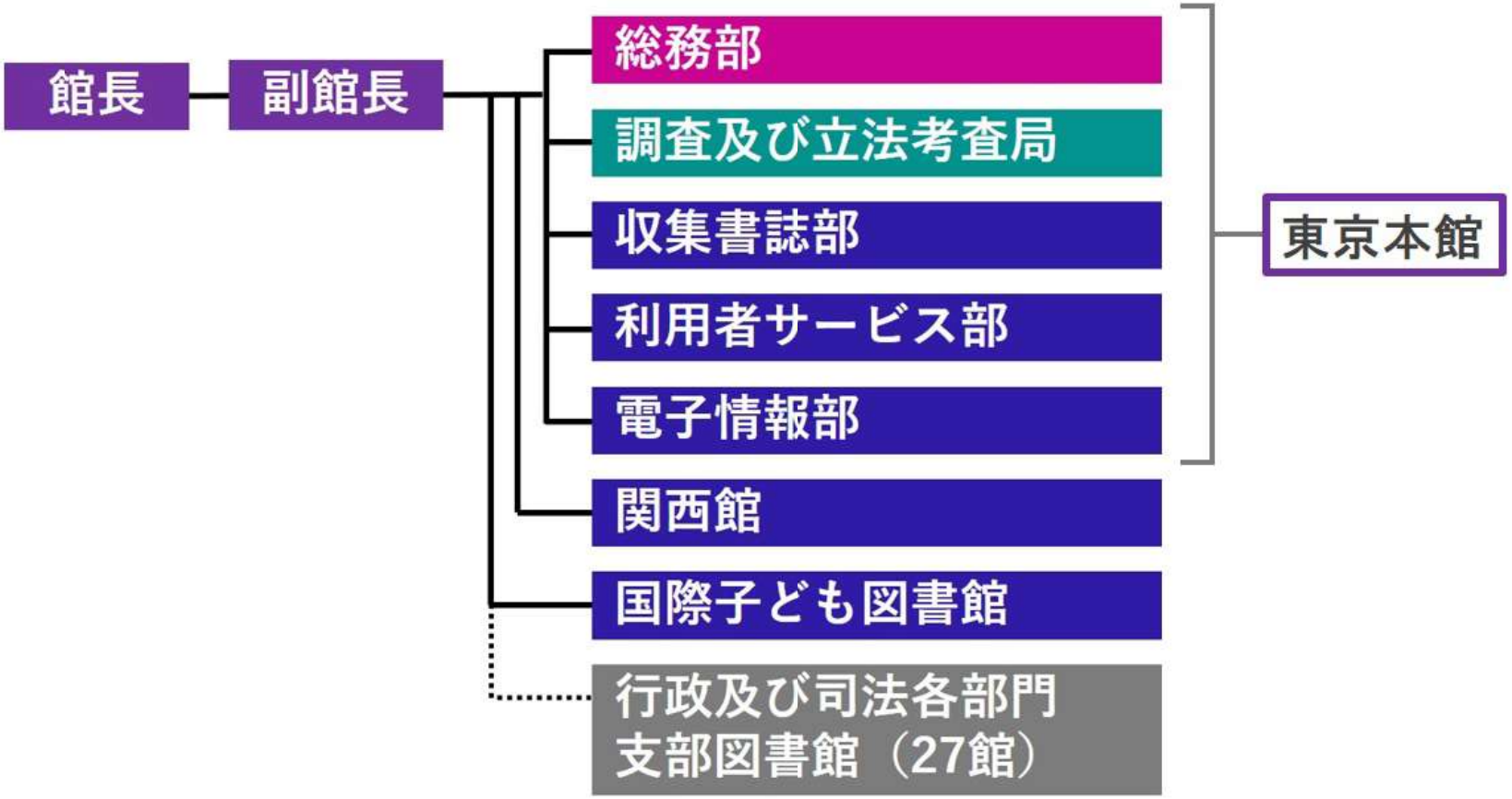
資料・情報の収集・保存

- 将来にわたるアクセスを保証するため、紙・電子の形態を問わず、国内外の資料・情報を広く収集・整理・保存

情報資源の利用提供

- 利用者が情報に的確かつ効率的にアクセスできるよう、利用者サービスを提供するとともに、必要なシステム等の整備を行う

組織図


館長
副館長
総務部
調査及び立法考査局
収集書誌部
利用者サービス部
電子情報部
東京本館
関西館
国際子ども図書館
行政及び司法各部門
支部図書館（27館）

東京本館

当館の中心的な役割

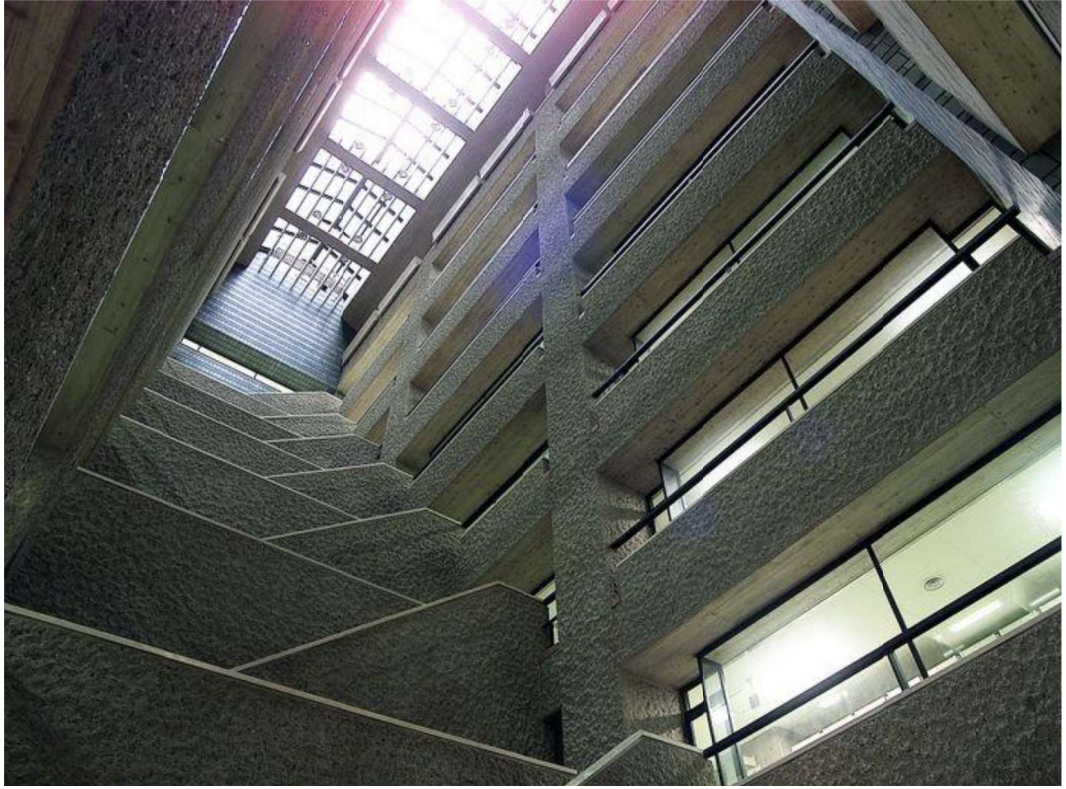
調査及び立法考査局

収集書誌部

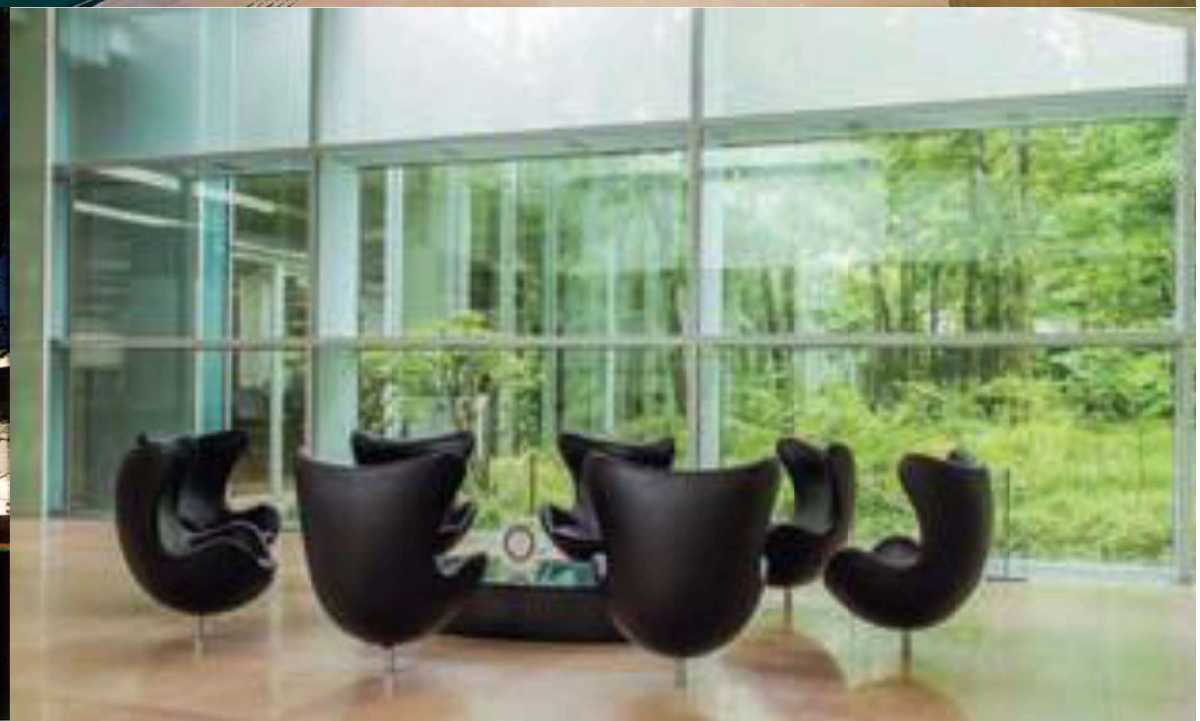
利用者サービス部

電子情報部

書庫



関西館

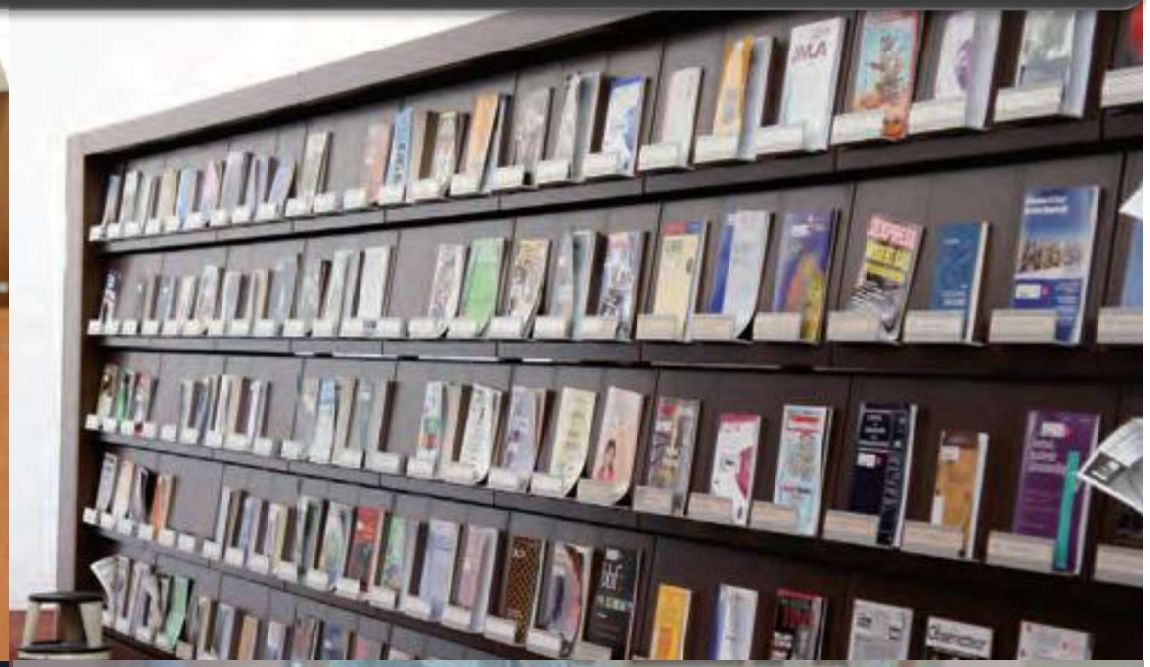


電子図書館事業

図書館協力事業

遠隔利用サービスの窓口

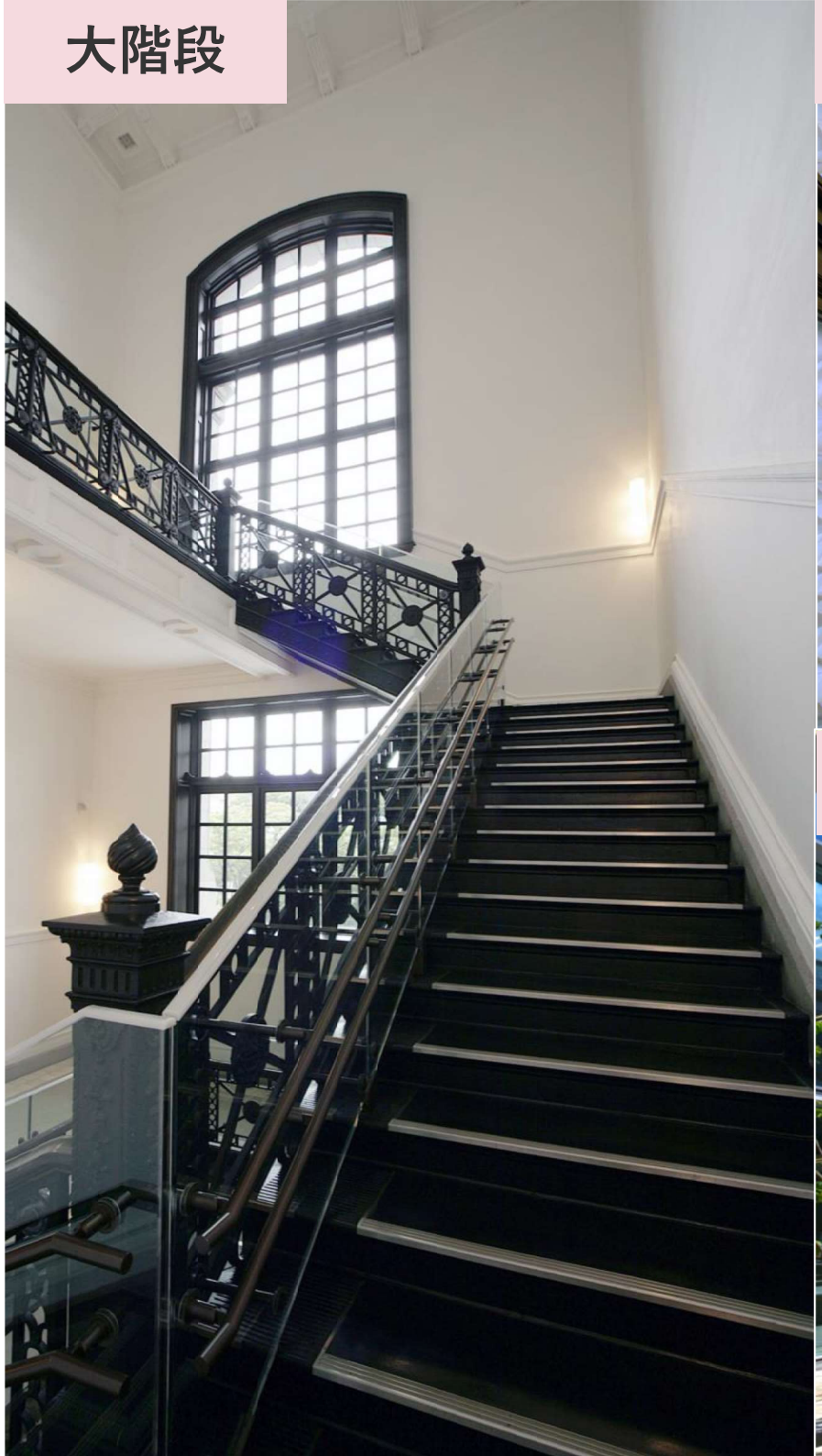
閲覧室



国際子ども図書館

・**児童書専門図書館**（国内外の児童書及び関連資料を収集・保存・提供）
・**子どもと本のふれあいの場**（児童書の提供、各種催物、見学、情報発信等）
・**子どもの本のミュージアム**（児童書に関する展示会や各種イベント等）

大階段



本のミュージアム

アーチ棟

おはなしのへや

子どものへや

世界を知るへや

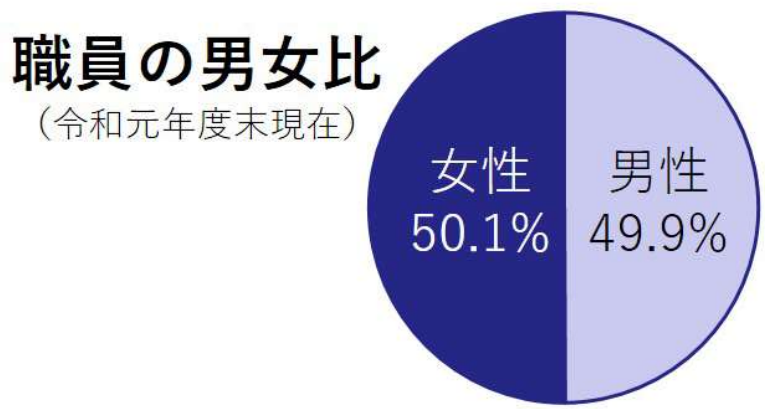
児童書ギャラリー

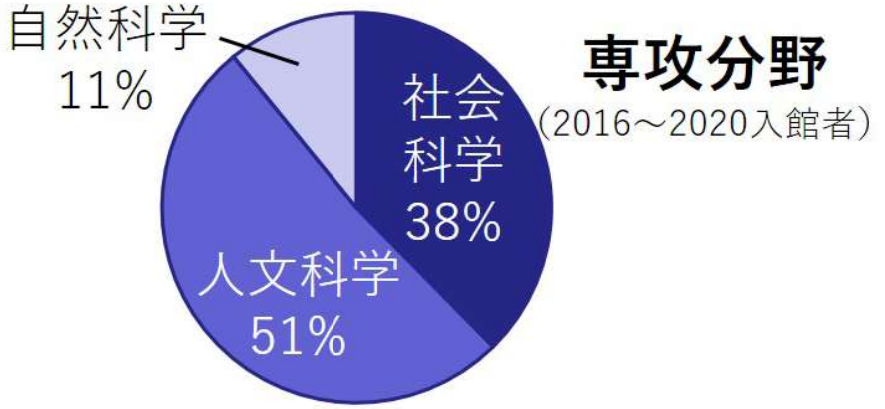
調べものの部屋

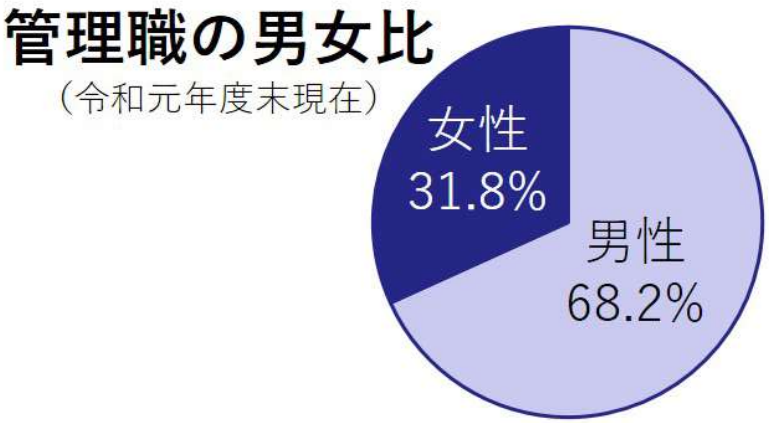
児童書研究資料室

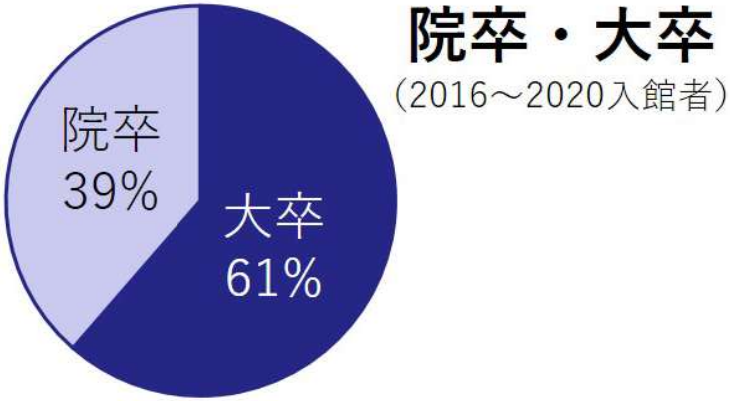
職員について

国立国会図書館職員は、国会職員であり、特別職国家公務員。









調査業務、司書業務、一般事務

- 調査業務≒「国会」の図書館としての役割を担う
- 司書業務≒「国立」の図書館としての役割を担う
- 一般事務≒ 総務、人事、会計等の事務
- 総合職試験、一般職試験、障害者（係員級）採用試験により採用された者は、これら３つの業務を経験しながらキャリアを歩んでいくことになる

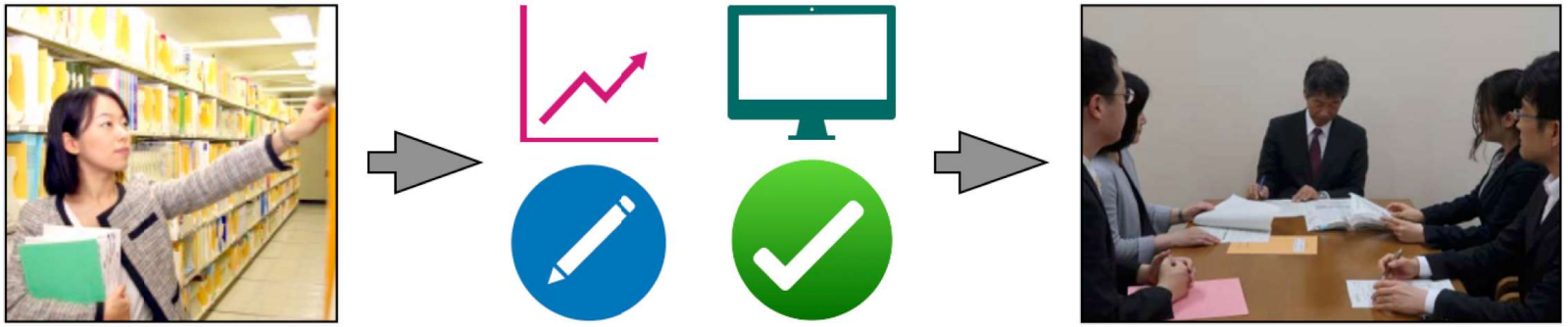
調査業務

調査及び立法考査局は、立法府のブレーンとしての機能を有する

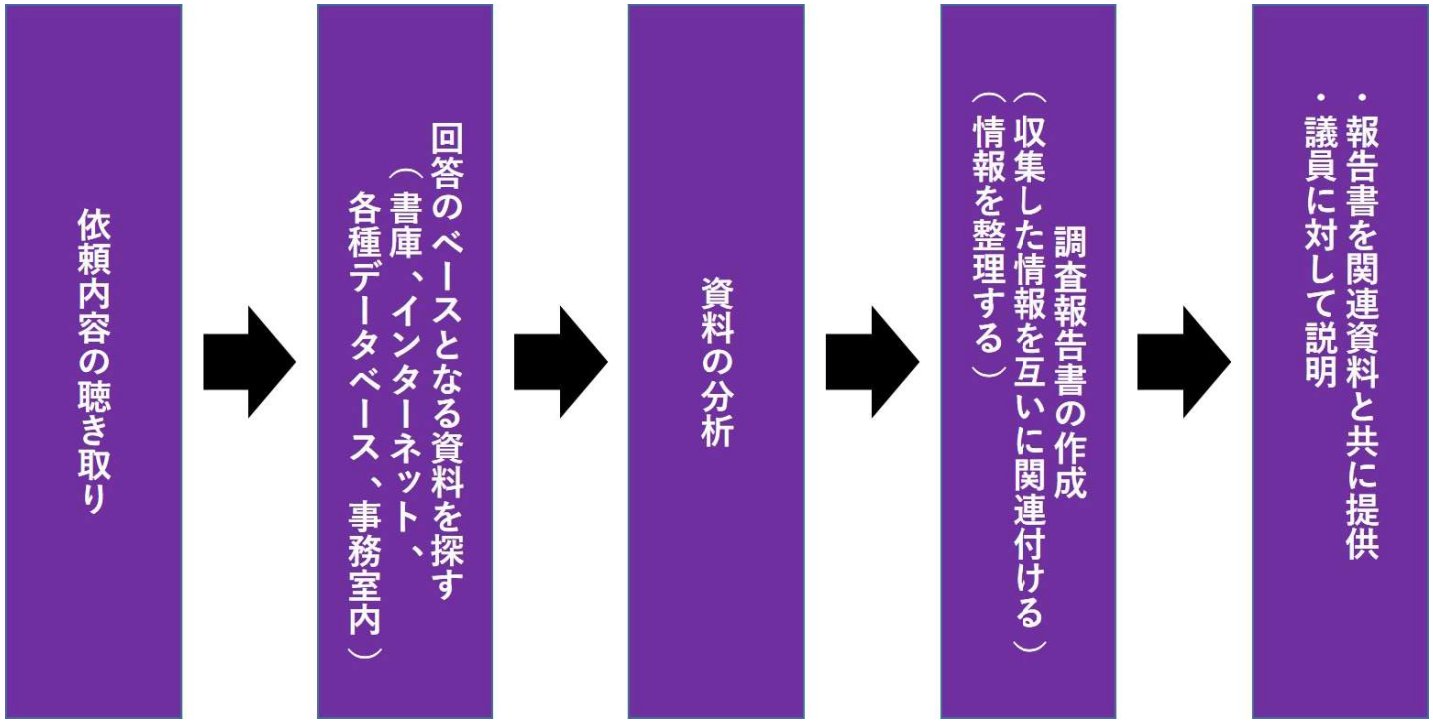
- 依頼調査
- 国政課題に関する調査研究
- 国会会議録（衆参と共同）や法令のデータベースの作成　　等

依頼調査とは

- 国会議員等から依頼を受け、所蔵する資料のほか、インターネットや外部データベース等の情報を活用し調査
- 調査報告書を作成し関連資料とともに提供したり、国会議員に対して対面又はオンラインで説明を行う
- 調査結果は議員の政策立案や国会の委員会質疑等で活用される
- 数時間以内に回答しなければならない依頼もあれば３週間程度の回答の期限のものもある



依頼調査の流れ（例）


依頼内容の聴き取り
回答のベースとなる資料を探す
（書庫、インターネット、
各種データベース、事務室内）
資料の分析
調査報告書の作成
（収集した情報を互いに関連付ける）
（情報を整理する）
・報告書を関連資料と共に提供
・議員に対して説明

国政課題に関する調査研究とは

- 国会で論点になりそうなテーマに関する調査を当館が自発的に行い、その成果を刊行物等に取りまとめ国会議員等に提供
- 国政課題の背景、法制度の変遷、諸外国の制度との比較、有識者の賛否等を分かりやすくまとめる
- 政策セミナーを開催し、参加した国会議員等に調査研究の成果を解説

当館の調査サービスの特徴（例）

- 迅速な回答
- 偏りのない調査
- 海外の法律・制度・政策に関する精緻な調査が可能
  - 海外の文献へのアクセスのよさ
  - 語学力の高い人材を活用
  - 海外の議会調査局との連携（欧州議会調査局（EPRS）等）

司書業務

1. 資料の収集・整理・保存　【収集書誌部等】
2. 一般利用者に対するサービス【利用者サービス部・関西館・国際子ども図書館】
3. 電子情報サービスと情報システム基盤整備【電子情報部・関西館電子図書館課】

等

資料の収集・整理・保存

収集

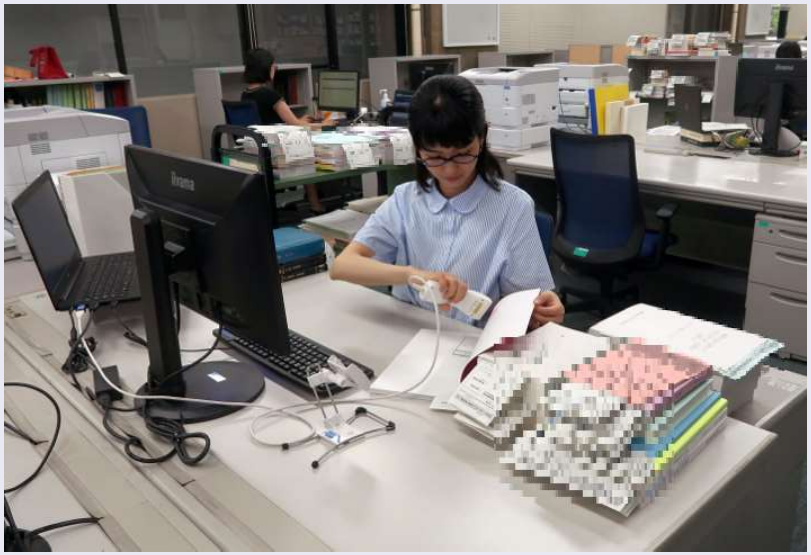
- 蔵書構築の方針策定
- 納本制度による国内資料の網羅的収集
- 購入や国際交換等による外国資料の収集
- 資料管理と書庫計画

納本制度とは

- 我が国で出版された図書等を国立国会図書館に納入することを義務付ける制度
- 国民共有の文化的資産として、広く利用に供し、永く後世に伝えること等を目的とする
- 出版物には、図書、雑誌、新聞、地図、楽譜、マイクロ資料、ビデオ、CD、DVD 等が含まれる
- 民間出版物については、納本した出版物の出版及び納入に通常要すべき費用に相当する金額を代償金として交付する

資料の収集・整理・保存

書誌作成及び提供



- 資料を探す手がかりとなる情報を記録したデータを作成
- 当館資料の検索のみならず、国内外の図書館等でも利活用される

保存

- 資料の修復、保存環境の整備
- 国際図書館連盟で資料保存を推進する IFLA/PAC アジア地域センターの役割も持つ

一般利用者に対するサービス

	主な館内利用サービス
所蔵資料等	閲覧・複写
デジタル資料	館内端末での閲覧・複写
レファレンス	各閲覧室でのレファレンス
展示会	館内での展示会

一般利用者に対するサービス

	主な遠隔利用サービス
所蔵資料等	• 図書館間貸出 • 遠隔複写
デジタル資料	• 図書館向けデジタル化資料送信サービス • インターネット公開
レファレンス	• 電話レファレンス • 文書レファレンス • リサーチ・ナビ
展示会	• 電子展示会

電子情報サービスと情報システム基盤整備

利用者が必要な情報に迅速かつ的確にアクセスできるよう、電子情報を活用したサービスを積極的に実施。当館の基幹情報システムの開発・運用も行う。

国立国会図書館デジタルコレクション

資料をデジタル化し、当館の端末・インターネット・図書館向けデジタル化資料送信サービス等を通じて提供

国立国会図書館オンライン

当館の所蔵資料や利用可能なデジタルコンテンツの検索と各種申込みができるサービス

WARP: インターネット資料収集保存事業

公的機関等の Web サイトを収集・保存・提供

国立国会図書館サーチ

当館をはじめ、全国の図書館や学術研究機関等が提供する資料、デジタルコンテンツの統合的な検索が可能

東日本大震災アーカイブ（ひなぎく）

震災記録等のポータルサイト

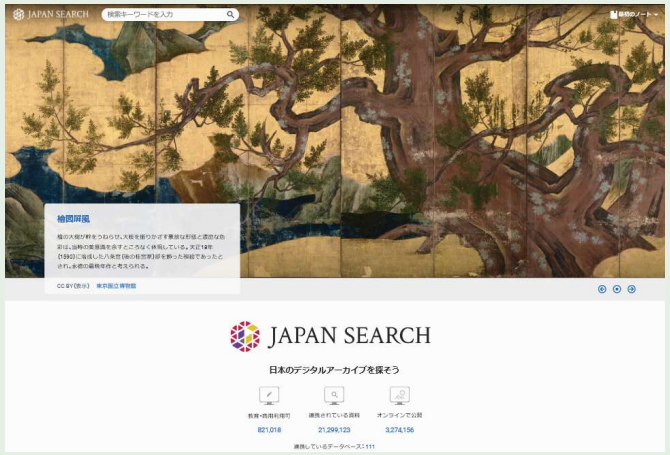
NDL ラボ

次世代の図書館システムの開発に資する要素技術（例えば、全文テキスト検索機能、機械学習を用いたデジタル化資料の提供方法の改善等）の実証実験等

電子情報サービスと情報システム基盤整備

ジャパンサーチ: 国の分野横断型統合ポータル

- 様々な機関のデジタルアーカイブと連携
- 我が国が保有する多様なコンテンツのメタデータをまとめて検索できるようにすることで、デジタル情報資源が効率的に発見され有効に活用されていくことを目指す
- 検索以外にも集約したメタデータを利活用しやすい形式で提供し、コンテンツの利活用を促進する基盤でもある
- 文化の保存・継承等だけでなく、観光・地方創生・教育研究・ビジネスへの活用も期待される



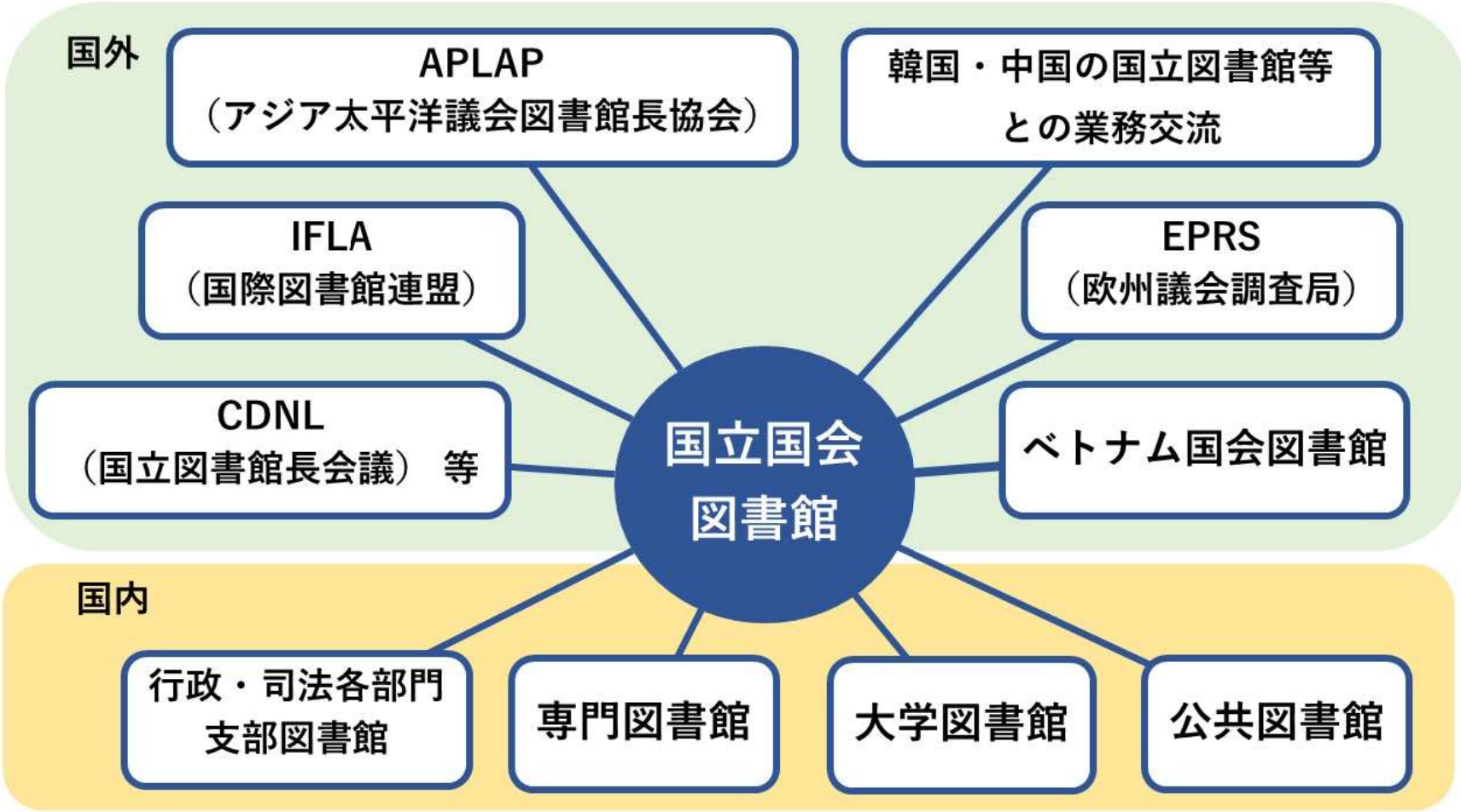
一般事務

組織を円滑に運営するため、

- 館の方針の企画・立案
- 人事管理
- 予算の執行の管理
- 法務
- 庁舎・設備の管理
- 国会との連絡調整

等の事務を担う。【総務部等】

国立図書館として関係機関と連携（例）



留学制度

調査部門・図書館部門から若干名の職員を海外の大学院に留学させている。最近の留学先としては、UC Berkeley, LSE, The Fletcher School of Law and Diplomacy, King's College London 等がある。国内の大学院に官費留学できる制度もあり

採用情報

採用方法

独自の採用試験

令和 3 年度の試験の種類

①総合職試験、②一般職試験（大卒程度試験）、③施設設備専門職員採用試験（大卒程度試験）、④障害者（係員級）採用試験（大卒程度試験）。申し込むことができるのは 1 種類。総合職試験受験者は特例制度を利用可。

受験資格

- S62.4.2～H13.4.1 生【総合職、一般職、施設設備】
- S57.4.2～H13.4.1 生+ 障害者手帳等所持【障害者（係員級）】
- H13.4.2 以降に生まれた者でも一定の条件を満たせば受験可能
- 受験に当たり司書資格は不要

総合職・一般職

受付期間	3/22(月)～ 4/7(水)（郵送のみ・消印有効）

	内容	試験日	合格発表
第1次試験	教養試験（多肢選択式）	5/9(日)	5/20(木)
第2次試験	専門試験（記述式）※1 英語試験（多肢選択式） 小論文試験 ※2	6/6(日)	6/29(火)
	人物試験（個別面接）	6/9(水)～ 21(月) のうち指定する日 ※3	
第3次試験	人物試験（個別面接）	総合職：7/6（火） 一般職：7/7（水）、7/8（木） のうち指定する日	7/28(水)以降

※1　次のうち、受験者があらかじめ選択する1科目についての筆記試験
法学（憲法、民法、行政法、国際法から2分野）、政治学、経済学、社会学、文学、史学（日本史、東洋史、西洋史から1分野）、図書館情報学、物理学、化学、数学、工学・情報工学（工学全般、情報工学から1分野）、生物学
※2　総合職試験のみ
※3　土日を除く

障害者（係員級）

受付期間	3/22(月)～ 4/7(水)（郵送のみ・消印有効）
採用後の職務	調査業務 / 司書業務 / 一般事務等の館務

	内容	試験日	合格発表
第1次試験	専門試験（記述式）※ 英語試験（多肢選択式）	6/6(日)	6/29(火)
第2次試験	人物試験（個別面接）	7/13(火)	7/28(水)以降

※　次のうち、受験者があらかじめ選択する1科目についての筆記試験
法学（憲法、民法、行政法、国際法から2分野）、政治学、経済学、社会学、文学、史学（日本史、東洋史、西洋史から1分野）、図書館情報学、物理学、化学、数学、工学・情報工学（工学全般、情報工学から1分野）、生物学

施設設備

受付期間	3/22(月)～ 4/7(水) （郵送のみ・消印有効）
採用後の職務	施設設備の維持及び管理等

	内容	試験日	合格発表
第1次試験	教養試験（多肢選択式）	5/9(日)	5/20(木)
第2次試験	専門試験（多肢選択式）※1 専門試験（記述式）※2	6/6(日)	6/29(火)
	人物試験（個別面接）	6/9(水)～ 21(月) のうち指定する日 ※3	
第3次試験	人物試験（個別面接）	7/12(月)	7/28(水)以降

※1　次のうち、受験者があらかじめ選択する1科目についての筆記試験
　　電気、機械、建築
※2　施設設備に関する共通の筆記試験
※3　土日を除く

採用情報

試験案内・受験申込書の入手方法

採用情報のページからダウンロード可能。東京本館、関西館、国際子ども図書館においても配布する。郵便でも請求可能

受験申込受付期間

3/22（月）～ 4/7（水）（消印有効）。特定記録郵便による郵送のみ（持参不可）

参考情報（採用情報のページ経由で見られる）

- 採用試験関係の情報（過去問、合格体験記等）
- 採用案内パンフレット
- YouTube「国立国会図書館を志望される皆様へ」
- 『月報』の「国立国会図書館で働いています」のコーナー
- 先輩からのメッセージ

まとめ・メッセージ

- 国立国会図書館には、調査業務・司書業務・一般事務の多様な業務あり、職員のバックグランドも多様。それが当館の強みにもなっている。
- 国の機関で働いているからこそ経験できる貴重でやりがいの大きい仕事も多い。
- 今後、社会全体でデジタルトランスフォーメーションの変革が進む。そうした時代の国会、国民のニーズに的確に応えるためには、古い発想にとらわれず、新しいことに挑戦する気概のある職員の力が必要。
- 国立国会図書館で一緒に仕事ができる日を楽しみにしています！